

学科名	電気通信工学科						
科目名	応用数学 I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	選択必修科目(組込みシステムコース)／選択必修科目(電気エネルギーコース)／選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた系がしたがう運動を微分方程式として書き下すことができる。 ・境界条件(初期条件)を用いて積分定数が固定できる。 ・2階線型微分方程式の一般解を求めることができる。 ・極座標と直角座標の関係を書き下せる。 ・極座標を用いて曲線の長さ、領域の面積や体積などを計算できる。 						
日程と内容	4/ 9 導入・偏微分 4/16 微分方程式とは 4/23 完全型・変数分離型 4/30 同次型 5/ 7 階数の切下げ・線形微分方程式とは 5/14 斉次方程式の解法 5/21 非斉次方程式の解法 5/28 交流回路への応用 6/ 4 多重積分とは・簡単な例 6/11 ヤコビアンとその応用例 6/18 重積分の応用(1) 6/25 重積分の応用(2) 7/ 2 重積分の応用(3) 7/ 9 総合復習 7/16 定期試験 7/23 試験の講評						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	40%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	授業の目標は毎週の講義を通して達成できた。また、個々の学生の理解度は課題と試験によって検証できた。						
反省点	幾何学や力学の分野では重積分の問題を多く提供することができたが、電気工学に関連した分野では十分な数が用意できなかった。						
来年度の計画	担当者変更のため未定						
授業評価アンケートに対するコメント	一部の学生には非常に興味をもって聴いてもらった講義であった。ただ、これからは自分の言葉で講義内容を理解し、より多くの問題を解くように心がけてほしい。						
履修登録者数	31名	定期試験受験者数	27名	合格者数	19名	合格率	70%